

# 翔英館の On Line Salon

オンラインサロン型学習のご案内



# オンラインサロン型学習って一体何？

「オンラインサロン型学習」。こんな言葉、皆さんは今までに聞いたことがなかったと思います。それもそのはず。これは翔英館が作った言葉です。「わからない」かも知れませんが、オンラインサロン型学習と、翔英館の指導理念をしっかりと理解してくださいね！

※すごく頑張って作ったので、「読まない」という選択肢は無しにしてほしいです（「動画」にしても良かったんですけど、どうせ皆さん見ないでしょ??笑） 少しずつでも、最後まで読んでください。

翔英館の「オンラインサロン型学習」は、今の時代にマッチした、そしてこれからの時代を先取る、先駆的学習スタイルです！

そして、「コロナで突貫工事」をしたオンライン指導塾ではありません。

翔英館はどこよりも時代を先取りして 2001 年の開講からオンライン学習指導を行っている、

※1

※2

## 「元祖！（本家！）オンライン指導の塾」

なのです！

※1 翔英館は「学校」「学習塾」を含めて、日本で初めてオンライン教室運営と指導を開始した学習塾です。

※2 開業当時（2001 年）にはメールチャットを使った質問対応、2006 年には Skype 面談、2010 年には facebook メッセンジャーを使った質問対応、2014 年には Skype による複数教室同時運営と複数教室同時授業システムを実現し、その後このシステムは「離島の教室への授業配信」などで、学校教育でも活用される様になりました。その運営に関する講演会なども行った実績があります。「ICT=インターネットコミュニケーションテクノロジー」という言葉を、どこよりもいち早く学習塾に導入したのです。

余談ですが、実は代表の井原は、「翔英館を作る前（2000 年～2001 年。21 年前！）」に、「インターネット掲示板の学習塾」を運営していた経験があるんですよ！

そう言う意味では、「誰よりもどこよりも早くインターネット学習指導をしていた塾」という事になります。ですから、よその塾とは「ネット指導」の歴史が全く違います！

## Q1. 「そちらの塾はどのような指導方法ですか？」

A1. 集団一斉指導と、自立促進型個別進度学習（個別指導）の2種類からお選びいただけます。ライバルと切磋琢磨したい場合は前者、マイペースで学習したい場合は後者をお勧めします。

「マイペース」と聞くと、「ゆっくり」なイメージがあるかもしれませんが、そうではなく、「できるところはどんどん」「つまずいたところはじっくりと」を実現できるのが、後者の学習方法です。

そして、最大の特徴は、日本唯一の「オンラインサロン型学習」を採用している、という点です。Skypeというテレビ電話ツールを利用して、オンライン対面授業を行いますが、実際には「それだけ」ではありません。

※問い合わせなどで尋ねられた際、「リモートです」「オンライン授業です」と伝えただけで、「ああ、じゃあ良いです」と言われることがあります。これは、コロナ時代の後に雨後の筍の様に誕生した、「突貫工事のリモート授業」を一時的に経験し、「じっくりこなかった」経験のある方がいらっしゃる事が理由だと思われれます。よって、その言葉を聞いただけで「話を聞くのをやめる」方もいますので、翔英館では「リモート」という言葉を厳禁としています。

## Q2. 「オンラインサロン」とはなんですか？

A2. まず、「オンラインサロン」についてご説明します。

例えば芸能人の方が、自分のファンを相手に、オンライン上のツールを使用して、

- ①メールマガジンの会員限定配信
- ②Twitter、LINE、facebook、InstagramなどのSNSの会員限定公開配信
- ③会員限定のインスタライブやYouTubeライブ
- ④zoomやSkypeを使ったファン交流

などを通じて、会員（ファン）限定の情報発信を行う場なんですね。昔の「ファンクラブ」と言うと、年に数回定期的に郵送物が届いて、ファン限定の特典（ライブの優先申込みやバッジや会報）があったり、が普通でしたよね？現代のオンラインサロンでは、これを「インターネット上のツール」を使ってファンと交流するためのコミュニティだと思ってください。

「メールマガジンで一方向的に情報を発信するだけ」のオンラインサロンもあれば、「ファンと積極的に交流する」オンラインサロンもあり、その内容は様々となっています。

簡潔に言うと、「インターネット上のファンクラブ」に近いものだと思います。

## Q3. では翔英館の「オンラインサロン型学習」とはなんですか？

A3. 翔英館のオンラインサロン型学習は、巷の「リモート授業」とは少し違うんですね。お問い合わせで「オンライン指導です」って伝えると、「ああ、じゃあ良いです！」って言われる事が多いですけど、「想像しているものとは違う」と考えて下さい。

オンラインサロンの定義と概念を使って、「インターネットを通じて、いつでも生徒さんと保護者の方のそばにいられる」システムを作りました。おそらく、この概念を使っている塾は、日本で翔英館だけです。

ほら、「塾に通ったは良いけど、塾以外では学習しないお子さん」って多いじゃないですか。このシステムであれば、塾に来なくても、例えば学校の宿題でつまづいた所があっても、家から相談や質問が可能です。

- ①リアルタイムオンライン指導
- ②定期生徒面談
- ③受講生限定の最新受験情報の発信
- ④チャットを使った指導時間以外の質問対応
- ⑤学習管理アドバイス

などを実現しています。

登下校や送迎の手間や感染の心配がありません。「狭い」「密接」「長時間滞在」という現代では最悪の環境と言える塾に登校する必要がありませんので、息苦しいマスクも着用する必要がなく、安心して指導に集中することができます。

また、問題演習&課題管理ツール「デキタスコミュ」を使用して、「家庭学習のコントロール」も行っているため、いつでも、どこでも、翔英館が皆さんのそばについています。

国（経済産業省）は、このご時世、学習塾予備校に対し、再三「通塾させずにリモート指導を行いなさい」と指導しているのですが、それを守って実施している塾は少ないですよ。翔英館は陰ながら感染の防止に協力させていただいているのです。

「塾は通って生身で教わるもの」という常識は、必ず変わってきます。  
これからの時代はオンラインサロン型学習ですよ！

## Q4. zoom や Skype ってなんですか？よくわかりません。難 しそうで設定出来る自信がありません。

A4. Zoom も Skype も、インターネット回線を通じて対面通話ができるツールです。それぞれの性質として、zoom は「ウェブ会議」向けのツール、Skype は「おしゃべり」向けのツールです。翔英館では、「授業」「会議」という堅苦しい雰囲気排除するため、あえておしゃべり用の「Skype」を正式ツールとして採用しています。

「設定の仕方がわからない」のであれば、こちらでお手伝いします。お子様またはご両親のスマホやタブレットをお持ち頂ければ、その場で一緒に設定致します。お任せください（3分程度で終了します）。

特に「Skype」は他の交流ツール（zoom、LINE、Twitter、facebook、Instagram など）に比べて、非常に安全性が高いツールです。意図しない迷惑広告の表示などはありませんし、知らない人からのお誘いなども殆どありません。これは他の SNS ツールに比べて運営の歴史が長く（2004年運用開始です）、脆弱性などの問題点もかなりクリアされているから、という理由があります。

※zoom ではまだまだセキュリティの脆弱性が指摘されることもあります。

翔英館でも7年以上指導に活用しておりますが、その間に「生徒さんが何らかのトラブルに巻き込まれる」などの事例が発生した事例はありませんし、私も15年以上使用していますが、同様にトラブルに巻き込まれた事などありません。「LINE」などでは、「いつの間にか知らない人に登録されている」「知らない人からメッセージが届く」「邪魔な広告が入ってくる」などがありますが、誰かに検索されたとしても「承認」しなければ交流が出来ない Skype にはそれが（殆ど）ありません。LINE や Instagram よりも、よほど安全なツールと言えます。

また、Skype のアカウントがあれば、「家庭で指導が受けられる」以外にも、以下の様なメリットがあります。

- ①チャットを利用して、ご家庭からでも質問が受けられる。
- ②お知らせの文書などを、印刷しなくてもお渡しすることが出来るし、履歴に残るので紛失の心配がない。
- ③生徒面談も安心安全に出来る。「どんな時でもそばにいる」が実現出来る。
- ④保護者面談などもわざわざ校舎までいらっしゃらなくてもお話が出来る。

※あまり言いたくはありませんが、「通塾型」の学習塾では、「物理的に生身で交流出来る」からこそ生じるさまざまな「社会問題」も発生します。

- ①男性講師が女生徒にセクハラをしたり、それ以上の行為をしようとする人間もいる。逆に男子生徒に手を出す女性講師も存在する。
- ②コロナ時代において、感染のリスクが高く、落ち着いて指導を受けることが出来ない。

- ③講師の体臭や口臭、香水臭などで集中して授業が受けられない事がある。
- ④登下校時に事故や事件に巻き込まれるリスクがある。また、夏の炎天下、冬の酷寒の中でも通塾が必要で、指導を受けるまでに疲れてしまう。
- ⑤保護者の方の送迎の協力が必要で、ご両親の貴重な時間が奪われてしまう。

以上の様な「問題」を全てクリア出来る「オンラインサロン型指導」に、「生身の通塾指導」よりも劣っている理由があるのでしょうか？

## Q5. パソコンが必要ですか？また、インターネットの環境が整っていないのですが？

A5. パソコンでなくても、スマホやタブレットでも指導を受けることが可能です。もしご家庭のインターネット環境が脆弱である、という場合は、「通学コース」をお選び下さい。校舎内の高速インターネット回線を使用できます。

また、高速インターネット回線を整備しましょう！

「インターネット環境」は、今や「電気ガス水道電話」と並ぶ生活必需の社会インフラストラクチャーです。安全で快適な生活を送るため、ネット環境の整備をお勧めします。国から国民に対し、「IT&ICT化への準備」を促してから、もう20年です。インターネットは決して「目新しいアイテムではありません」し、Skypeも世の中に誕生して17年です。今後「高速のネット環境」がなければ、ますます「大学に出願出来ない」「各種試験の出願が出来ない」「就職出来ない」「医療が受けられない」「買い物が出来ない」「就職後に仕事が出来ない」といった、様々なデメリットも生じます。「わからないし、必要ない」様なものではありません。何卒、皆さんの身の安全のため、高速のネット回線を導入し、「(今後の)通常の世界生活」が送れる環境を整備して下さい。

※「ネット環境を整備する事」と「ネット上の危険を回避すること」は別問題です。

## Q6. リアルタイム指導である理由はなんですか？タブレット学習やビデオオンデマンド（映像閲覧授業）とは何が違いますか？

A6. 翔英館は「リアルタイム指導」に拘っています。「毎週決まった時間」に指導が開始しますので、学習のペースメーカーとなります。

確かに忙しい皆さんは「いつでも学習出来る」「自分のペースで学習を始められる」スタイルの、「タブレット教材」や、「ビデオオンデマンド授業（動画閲覧型授業）」は便利な様に思えますが、「いつでも出来る」という事は、逆をいえば「今やらなくても良い」という事。

その点リアルタイム指導は、「こちらから学習開始の合図」を送りますので、ご家庭で「いつやるの?」「今やろうと思ったんだよ!」のようなイザコザも起こりません。

翔英館のシステムであれば、「通塾している時」だけでなく、ご家庭での学習のペースメーカーになります。家庭学習でも皆さんの頼りになれます。

## Q7. オンライン指導はわかりにくいイメージがあります。一方的に授業を聴くだけなので、うちの子は眠くなってしまう様です。

A7. 「オンライン指導はわかりにくい」。この考え方は、2020年3月以降、全国の学習塾で「オンライン授業の突貫工事」が行われ、「わかりにくいリモート授業」が全国に蔓延したことから生まれた偏見だと言えます。

これは、「ただパソコンにカメラを繋いだだけの普段通りの一方的な授業」を家庭に配信するだけの「低品質な授業」が増えたためであり、その結果「つまらない」「やる気が出ない」といった悪評がばらまかれることになりました。

翔英館では「オンライン用の指導スタイル」に拘っています（「ただ教室の授業を配信するだけ」ではなく、「オンライン用」にカスタマイズしているという事です）。オンライン指導だからこそできる事、そして教室での授業では敵わない事、を徹底的に研究した上で、授業を行っています。

まず、一方的な講義配信ではなく、「問答型学習」に拘っています。

翔英館のリアルタイム指導では「双方向のやりとり」が行われます。一方的につまらない説明を聞き続けるタイプの授業ではなく、生徒一人一人の「わかった」「わからない」をしっかりと判断し、考え、選択し、判断する思考回路の養成の土台となり、状況に応じて説明のスタイルを変える、などが出来ます。

そういう意味でも、翔英館は「リアルタイム指導」に拘っているのです。

翔英館の指導は「一方通行型」ではありません。ご想像なさっている「普通のオンライン授業」とは違います。

翔英館は2014年から「オンライン指導」を行なっています。もし翔英館のオンライン指導が「わかりにくい」「成績が上がらない」「どこにも合格しない」のであれば、とっくの昔に生徒さんが一人もいなくなって、翔英館は潰れていますよね？笑

オンライン指導ならどれも一概にわかりにくいと思う理由。

それは「あなたの心の中の先入観」だけです。

## Q8. 先生との距離が遠いので、授業の内容にも身が入らないのでは？

A8. いいえ、よく誤解されていますが、翔英館のオンライン指導は、実は「対面授業よりも距離がとても近い」のです。

教室で授業を受ける場合、先生と生徒には「実際の物理的距離」が発生します。そして、このご時世、「生徒に近づく」事は色々な意味で相当な問題があります。

同一の画面で、同一の距離で、同一の方向を向いて授業が受けられる指導スタイルですので、講師は全員の生徒さんに対して均等に注意を支払うことができ、「ぼーっとしている」などが起こりにくくなります。

よって、「普通の塾の授業」よりも、集中力は高まり、生徒さんとの距離感は均一かつ短くなりますよ。信じられないかもしれませんが、本当の事なのです。

## Q 9. 定期生徒面談ってなんですか？なんのためにやるのですか？

A9. 通常の塾では、テスト前後などに生徒さんとの面談を行う事もありますが、翔英館では、月に2回、必ず生徒さんとの面談が行われます。学習、進路、成績の相談のほか、学習を進行する上で妨げになるような色々な悩みを聞き、アドバイスし、スッキリと学習に向き合える体制づくりのお手伝いをします。

大人だって、「心労や悩み」があれば、集中してやらなければならない事に手がつかない、というもありますよね？



「彼女と喧嘩した」「クラスに嫌いな子がいる」みたいな相談をしてくれる子もたくさんいますよ！どんな些細な事でも、悩み事は「学習の邪魔」になります。

## Q10. よその塾の「リモート授業」と何が違いますか？

A10. まず、インターネットを使った指導に対する歴史が全く違います。

「このご時世でも平気で登校させている塾」の方がまだまだ多いのが現状です。しかし、「多数決は正しさの証明」ではありません。世の中では「みんながそうしている」事が、実は間違っているケースもあるのです。

例えば、「友達 10 人で出かけたなら、自分を除いた全員が万引きをした」様な場合、「正しくないのはあなた」になりませんか？

また、通常の塾の「リモート指導」は、「普段の授業をそのまま配信している」イメージだと思えます。その結果、「普段の教室の授業」よりも、生徒さん 1 人 1 人に目が届きにくくなります。

しかし翔英館では、「オンライン指導用」に全てをカスタマイズしています。

まず、ハードウェアの面では、配信用のハイスペックなコンピュータ、高性能のマイク、鮮明な映像を配信できるカメラ、板書用の映像キャプチャーボード、光源用の撮影ライト、エフェクト用の背景グリーンバック、などなど、「配信で通塾授業よりわかりやすい指導をお届けする」ために、出来る限りの最大の努力をしています。

指導のスタイルも「一方的興業」ではなく、「対話」を重視しています。「サロン」の名に恥じない様に、考える時間や判断する時間にも時間を割いていながら、受験や学習に必要な知識や量はしっかりと抑えています。

おそらく、「あなたが想像するリモート授業」とは、全く別のものだと思いますよ！

## Q11. 「デキタスコミュ」って何ですか？

A11. スマホ、タブレット、パソコンのブラウザを使用して、小学生から高校生まで問題演習、課題演習ができるツールです。巷によくある「タブレット教材」とは全く違います。

「いつでもどこでも勉強が出来る」事は同じですが、デキタスコミュでは、「講師が課題や学習をコントロール」できます。皆さんの学習時間や、課題遂行状況をしっかりと管理して、「皆さんのやりっぱなし」を防ぎます。

「何時間勉強してる？」 「今週は何曜日に勉強した？」 「課題の遂行状況は？」 「どんな範囲を学習した？」 「理解度は？」 「苦手分野は？」

一人一人のこのような部分までしっかりと認識して、ピンポイントで指導することが可能です。

ゲーム感覚で、どんどん成績が上がります。ゲームの場合、どんなに頑張っても成長するのはゲーム内のキャラクターですよね？でも、デキタスコミュで成長するのは「あなた」なのです。

## Q12. 通塾はできないのですか？自習室を使いたいです。

A12. 出来ます。通塾コースとオンライン指導コースで分かれています。通塾コースは、自習室や参考書問題集など、校舎の設備を利用する事が可能です。オンラインコースは校舎設備が使用できない分、料金が割安となっています。

ただ、登校した場合でも「授業はオンライン指導」です。これは、学習塾の蜜の問題を避ける意味があります。

このご時世、学習塾は「最悪の環境」であると言えます。

- ①狭い空間で
- ②蜜の状態になって
- ③長時間同一空間に滞在する ※「長時間」とは「15分以上」を意味します

このような環境が現在の塾業界では「普通」ですが、今後その「普通」「常識」は変わって行くといえます。翔英館では徐々にこのような「古い常識」から脱し、新しい時代の塾へと切り替えて行きます。